

検証意見書



2026年7月15日
意見書番号：SGS26/039

ペプチドリーム株式会社
神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-23
代表取締役社長
リード・パトリック 様

検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、ペプチドリーム株式会社（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲

検証対象は、Scope1及びScope2、Scope3、取水量・排水量、エネルギー消費量である。
対象期間は2025年1月1日～2025年12月31日である。
詳細な検証対象範囲は別紙参照。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：PDR ファーマ(株) 千葉事業場及びPDR ファーマ(株) 川崎ラボの現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析的手続き及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 6.0）、GHG プロトコル、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver. 2.7）、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver. 3.5）、IDEA（v2.3）及び組織が定めた手順を用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。
なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク ノーススクエア I
ビジネス アシユアランス
認証・認定統括責任者

竹内 裕二

別紙

2026 年 7 月 15 日
意見書番号：SGS26/039

検証対象範囲の詳細

検証対象	検証範囲	GHG等に関するステートメント
1 Scope1, 2 (エネルギー起源 CO ₂)	連結対象範囲	Scope1 ペプチドリーム(株)： 0 t- CO ₂ PDRファーマ(株)： 3,272 t- CO ₂ 計 3,272 t- CO ₂ Scope2 マーケット基準 ペプチドリーム(株)： 0 t- CO ₂ PDRファーマ(株)： 1,897 t- CO ₂ 計 1,897 t- CO ₂ ロケーション基準 ペプチドリーム(株)： 1,781 t- CO ₂ PDRファーマ(株)： 7,922 t- CO ₂ 計 9,703 t- CO ₂
2 エネルギー消費量 ※電力消費量は二次エネルギー換算	連結対象範囲	ペプチドリーム(株)： 15,157 GJ PDRファーマ(株)： 130,466 GJ 計 145,623 GJ
3 Scope 3 (カテゴリー1, 2, 3, 5, 6, 7, 11, 12, 15)	連結対象範囲	カテゴリー1： 62,648 t- CO ₂ カテゴリー2： 9,700 t- CO ₂ カテゴリー3： 1,028 t- CO ₂ カテゴリー5： 323 t- CO ₂ カテゴリー6： 98 t- CO ₂ カテゴリー7： 231 t- CO ₂ カテゴリー11： 0.05 t- CO ₂ カテゴリー12： 6 t- CO ₂ カテゴリー15： 582 t- CO ₂
4 Scope 3 (カテゴリー4)	ペプチドリーム(株)およびPDRファーマ(株)における出荷物流	5,677 t- CO ₂
5 取水量及び排水量	ペプチドリーム(株)及び PDR ファーマ(株)3 拠点の計 4 拠点 ※非生産拠点8拠点を含まない	取水量 ペプチドリーム(株)： 5,791 m ³ PDRファーマ(株)： 70,195 m ³ 計 75,986 m ³ 排水量 ペプチドリーム(株)： 5,791 m ³ PDRファーマ(株)： 25,454 m ³ 計 31,245 m ³